

コクヨ PRESENTS

渋谷能楽 第一夜

SHIBUYA

THEATER

NOH

第一夜

氷室

2021.7.30(金)

セルリアンタワー能楽堂

18:30開場/19:00開演

渋谷能

次世代を担う能楽師、劇的に舞う。渋谷に舞う。

国内外から注目され、未来に向けて進化し続ける渋谷に、約650年の歴史を持つ芸能“能楽”の未来を担う若手能楽師が集まり、現代と伝統の世界とを結び、30代から40代の次世代を担う若手能楽師にスポットをあてた『渋谷能』は、能楽五流儀の垣根を越えた役者たちが、セルリアンタワー能楽堂で“一堂”に会い、現代にも共通する様々なテーマに沿って能楽を上演する企画です。2019年に企画が立ち上がり、昨年はコロナ禍において試行錯誤しながら全4回の公演を開催し、今年は、喜多流・宝生流・観世流それぞれの公演と、シテ方五流儀と和泉流狂言が揃う千秋楽の全四夜を開催いたします。

2021年度のテーマは「雪月花」。自然の美しいものを表す言葉として文学や芸能にも表現されています。能には文学を基にしたもの、実在の武将の物語、伝説や化生の者の話など様々ありますが、自然や四季を美しく表す曲も多くあります。昨年のテーマ「直面」は生身の人間(男性)が主役で現代人に近しく感じられましたが、一転して観客の想像力を膨らませるテーマは、より能楽の醍醐味と取れるでしょう。

第一夜「氷室」(喜多流)

2021.7.30(金) 18:30開場 / 19:00開演

亀山院の臣下が、丹後からの帰りに立ち寄った丹波国の氷室山で、氷室を守っている老人と若い男に出会います。老人は宮中に献上する氷と氷室の謂われを語り、氷調の祭りを見て行くように勧めて氷室の中へと消えていきます。氷室明神に仕える末社が、この地を訪れた臣下たちの為に季節外れの雪を降らせ、雪玉を丸める有様を見せます。やがて夜になると天女と氷室明神が現れ、氷を献上する様子を見せ、明神は急いで氷を都に届けるようにと天女を送り出し、世を祝福します。

- 7/15(木)19:00より事前講座を開催いたします。事前予約制。料金500円。公演チケットをお持ちの方はチケットご提示にて無料でご参加いただけます。
- 能楽鑑賞に役立つ解説をタブレットでご覧いただける多言語字幕システム「能サポ」を導入いたします。ご利用希望の方は、当日貸出し受付にてお申し込みください。(1台500円、台数限定)
- 特別協力：金子 直樹 協力：友枝 雄人(シテ方喜多流)、成田 達志(小鼓方幸流)

チケット前売開始

MY Bunkamura 先行：5月29日(土)

一般発売：5月30日(日)

チケット料金(税込)

S(正面)席 ¥7,000 A(脇正面)席 ¥6,000
B(中正面)席 ¥5,000 学生(座敷)席 ¥3,500

※学生席は能楽堂のみにて取り扱います。
購入の際に学生証の提示をお願いいたします。

チケット申込み

- Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999 (10:00-17:00)
- オンラインチケット MY Bunkamura <https://my.bunkamura.co.jp/>
- Bunkamuraチケットカウンター Bunkamura 1F 正面入口右手(10:00-18:00)
- 東急シアターオーブチケットカウンター 渋谷ヒカリエ2F(11:00-18:00)

※営業時間は変更になる可能性があります。何卒ご了承ください。
※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。
※お問合せ セルリアンタワー能楽堂(平日10:00-18:00、土日祝14:30-17:30)
03-3477-6412 <https://www.ceruleantower-noh.com/>

解説：金子 直樹 石田 ひかり

前シテ 氷室守： 佐藤 寛泰
後シテ 氷室明神：

前ツレ 男：谷 友矩

後ツレ 天女：友枝 雄太郎

ワキ 臣下：大日方 寛

ワキツレ 従者：野口 能弘

ワキツレ 従者：御厨 誠吾

アイ 社人：山本 凜太郎

アイ 社人：山本 則孝

笛：竹市 学

小鼓：観世 新九郎

大鼓：谷口 正壽

太鼓：小寺 真佐人

後見：狩野 了一 栗谷 浩之

地謡(後列)：友枝 雄人 内田 成信 金子 敬一郎

地謡(前列)：友枝 真也 佐々木 多門 佐藤 陽



〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F
TEL 03-3477-6412 / FAX 03-3477-0190
<https://www.ceruleantower-noh.com/>